

ナガエミクリ

Sparganium japonicum Rothert

ミクリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

本県では稀な植物で、産地に限られている。(現況:RO)

形態

類似種と比較しての特徴は、花序は分岐せず、少なくとも最下位から1ないし3個までの雌性頭花には、長さ7～50mmの柄がある。上側の頭花は着生で中間は柄が合着して腋上生である。雄性頭花は雌性頭花から離れて、4～9個着く。果実には約2mmの小柄がある。草丈70～130cm、葉には状態により、沈水葉と抽水葉があり、幅8～14mm。

国内分布

北海道(西南部)、本州、四国、九州。アジア極東地域に分布。

県内分布

これまで文献以外には知られていなかったが、近年の調査により中能登区、加賀中央区から3産地の報告があった。

生態など

沈水～浮葉多年草。開花期は6～9月。沈水状態のものもある。

生育環境

湖沼、溜池、河川、水路などに生育。流水域での出現頻度が高い。

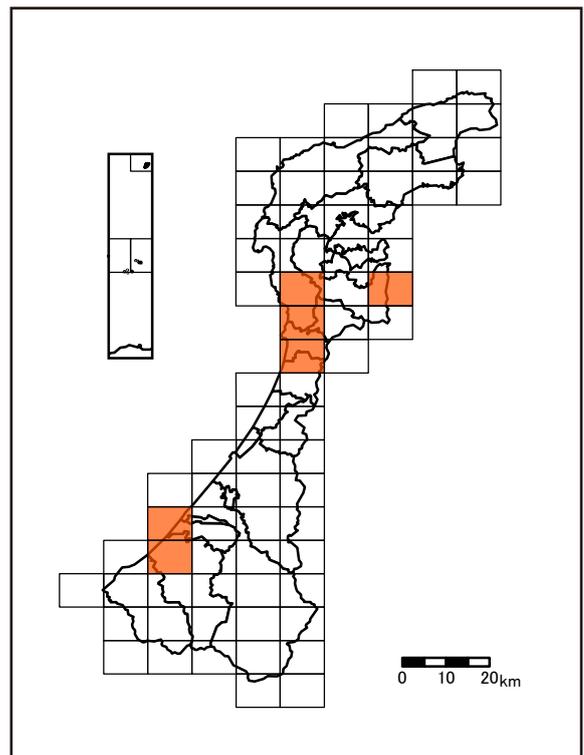
危険要因

河川開発、水質汚濁、その他(溝さらえ)。

特記事項

角野康雄.1994. 日本水草図鑑. 179pp. 文一総合出版.

写真(図)はありません。



県内の分布